

フードドライブに参加しよう！！

フードドライブとは、家庭などで余っている食品を持ち寄り、福祉施設などに寄付をする活動です。

練馬区では、平成 29 年 10 月～11 月にかけて、リサイクルセンターを会場としてフードドライブ事業を実施しました。

平成 29 年 10 月～11 月の実績
 受付件数： 171 件
 食品点数： 1,427 点
 重量： 371.4 kg

平成 30 年度も実施を予定していますので、ぜひご協力ください。



さらなるごみ減量に向けて

生ごみの水切りに取り組みよう

可燃ごみの 4 割は生ごみです。生ごみの 70%～80%は水分と言われており、水分を減らすための工夫をすることで、ごみが減らせるうえ、悪臭が抑えられます。そのためには、「ぬらさない」「しぼる」「乾かす」が効果的です。一人ひとりがちょっとした工夫を凝らし、毎日の生ごみを 20g 減量できれば、年間で約 5,000 トンのごみを減らすことができます。



3 R、特に「発生抑制」と「再使用」を推進しよう

3 Rとは、「Reduce」「Reuse」「Recycle」の頭文字をとった3つのRのことで、ごみを減らし、資源を大切に使うための大切なキーワードです。

特に、リデュースとリユースは、コストや環境負荷がほとんど発生しないため、優先して取り組むことが重要です。

- | | | |
|--------|---|--|
| 優先順位 1 | Reduce
リデュース(発生抑制)
【ごみの発生を抑えよう】 | ・必要のないものは買わない
・マイバッグを持参する
・残さず食べる など |
| 優先順位 2 | Reuse
リユース(再使用)
【繰り返し使おう】 | ・修理して長く大事に使う
・必要としている人に譲る
・詰め替え商品をえらぶ など |
| 優先順位 3 | Recycle
リサイクル(再生利用)
【資源として利用しよう】 | ・資源を正しく分別する
・集団回収を利用する
・再生品を利用する など |

平成 30 年 (2018 年) 1 月

発行 練馬区 環境部 清掃リサイクル課

〒176-8501 練馬区豊玉北 6-12-1

5984-1095 (直通)

平成 29 年度

練馬区資源・ごみ排出実態調査の概要

調査の概要

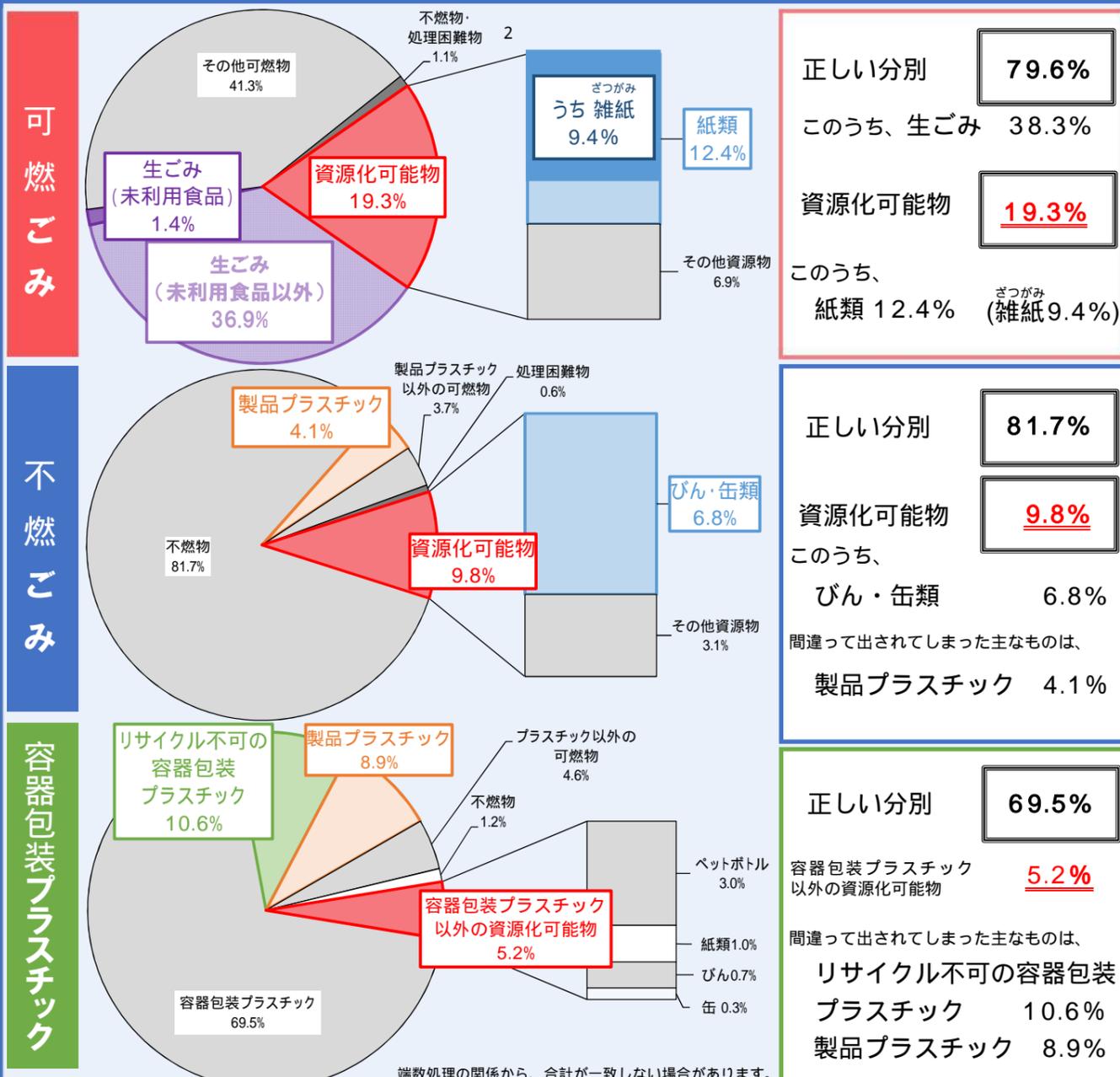
調査の目的

家庭から排出される可燃ごみ等の組成割合を調査して、正しい分別の割合や資源化可能物(1)の混入割合を把握し、さらなるごみ減量のための方策に資することを目的とします。

調査の期間

調査期間は平成 29 年 9 月 4 日 (月曜日) から 9 日 (土曜日) までの 6 日間です。

組成割合



1 資源化可能物：古紙や容器包装プラスチックなど、資源として排出されれば活用できたもの
 2 処理困難物：石や土、砂、コンクリート片など、区では収集運搬、処理ができないもの

こんなものが間違っ出されています！！

可燃ごみの例

正しい回収はこれねり！

リサイクル可能な紙類が入っています。

古紙回収



容器包装プラスチックが入っています。

容器包装プラスチック回収



練馬区公式アニメキャラクター
ねり丸
©練馬区

不燃ごみの例

電動自転車のバッテリーが入っています。

専門業者



飲食用のびんが入っています。

びん回収



容器包装プラスチックの例

湯沸かし電気ケトルが入っています。

不燃ごみ



製品プラスチックが入っています。

可燃ごみ



可燃ごみ

新聞や雑誌、雑紙、段ボール、紙パックなどの紙類は集団回収や古紙の回収日に出しましょう。

水でさっと洗ってきれいになる容器包装プラスチックは、容器包装プラスチックの回収日に出しましょう。



集団回収または古紙回収へ

容器包装プラスチック回収へ

不燃ごみ

飲食用のびんは不燃ごみに出すのではなく、びんの回収日に設置される回収用コンテナに出しましょう。

電動自転車のバッテリーは、区の収集には出せません。販売店に引き取ってもらえばリサイクルされます。



びん回収へ

専門の廃棄物処理業者がわからない場合は、下記各事務所までお問い合わせ下さい。
〒176・179 地域：練馬清掃事務所 (3992-7141)
〒177・178 地域：石神井清掃事務所 (3928-1353)

容器包装プラスチック

容器包装プラスチックとは、中身を取り出したり、使い切った後に不用となる「入れもの」や「包み、袋」です。



目印はこのマークです

水でさっと洗って汚れが落ちないものは可燃ごみに出しましょう。

おもちゃや文房具などの製品プラスチックは可燃ごみに出しましょう。



可燃ごみへ

年間約 15,000 トン(推計)の紙類が捨てられています！

可燃ごみの中の紙類の割合は12.4%もあり、年間約 **15,000 トン** の紙類が、資源でなくごみとして捨てられています。特に割合が高いのが紙箱やメモ用紙、チラシなどの雑紙(ざつがみ)で、雑紙だけでも約 **11,000 トン** も捨てられています。

古紙1kgからトイレトペーパーが5個再生されたとすると、紙類15,000トンは、7,500万ロールに相当します。区民1人あたりに換算すると、年間約100個分もの量です。

トイレトペーパー100個分も捨てているねり~！



雑紙(ざつがみ)とは、新聞、雑誌、段ボール以外のリサイクルできる紙類のことです。具体的には、紙箱やメモ用紙、チラシ、パンフレット、包装紙、紙袋、トイレトペーパーの芯などです。

紙箱やメモ用紙などは、雑誌に挟むか、紙袋(ビニールコーティングされていないもの)に入れて出しましょう。



折込広告は新聞の間に挟んで出しましょう。

雑紙だって資源です

年間約 1,700 トン(推計)の食品が捨てられています！

利用されずに捨てられてしまった食品が、可燃ごみの1.4%を占めています。これを区の1年間のごみ量に換算すると、なんとおよそ1,700トン。区民1人が1週間あたり50グラム、8枚切りの食パン約1枚分を捨てていることになります。



こんなに捨てられているねり.....



消費期限と賞味期限の違いを正しく理解しましょう。

食品の在庫を確認して計画的な買い物をしましょう。

外食の際には食べ残しがないように注文しましょう。

「消費期限」と「賞味期限」の違い

加工食品には「消費期限」と「賞味期限」が表示されています。

弁当やサンドイッチなど品質の劣化が速い食品の表示

消費期限

2018年1月31日

安全に食べることができる期限
期限内に食べるようにしましょう。

スナック菓子や即席麺など品質の劣化が比較的遅い食品の表示

賞味期限

2018年1月31日

美味しく食べることができる期限
期限を少し過ぎても、すぐに食べられなくなるわけではありません。

わかったねり！！



未利用食品を減らそう